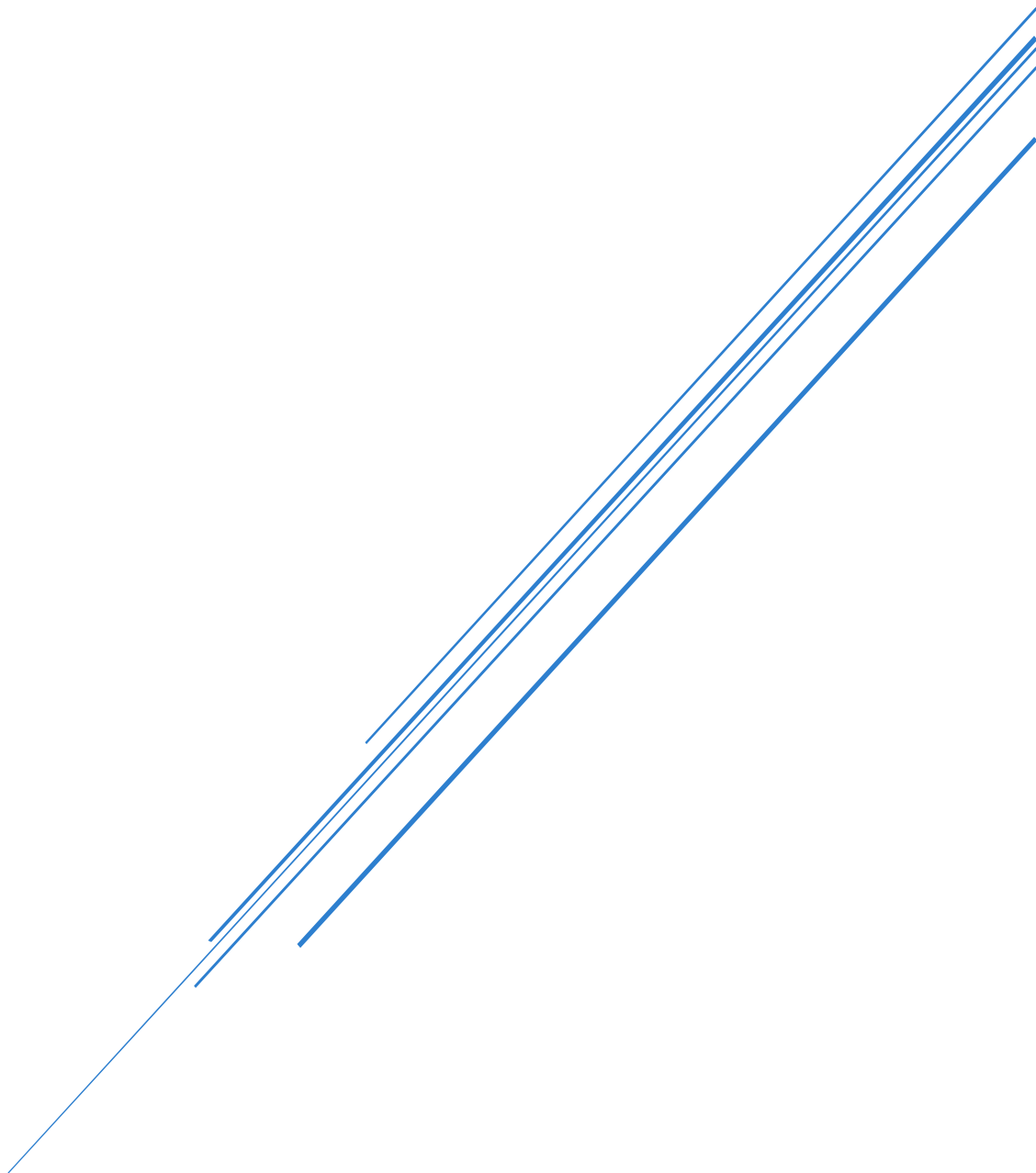


2024 卒業生アンケート調査

集計結果報告書



2025 年 4 月

学校法人浦山学園 富山福祉短期大学

富山福祉短期大学 卒業生アンケート調査 集計結果報告書

目次

I. 調査の概要	2
II. アンケート調査回答結果	3
1. 基本情報.....	3
2. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「講義全般」について	4
3. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「実習」について	6
4. 本学の就職・進学支援体制.....	8
5. 卒業後のサポート	9
6. 後輩へのアドバイス	9
III. まとめ	10
IV. 2022 年調査結果との比較	15
V. 考察.....	18

I. 調査の概要

■調査目的:

- ・社会のニーズに応えられる人材の育成と輩出を図り、今後の本学の教育サービスの充実と改善につなげる
- ・調査結果を踏まえた教育改革・改善

■調査対象:

令和 6 年 3 月卒業の卒業生／修了生（143 名）のうち、進路が確定していた方 108 名

■調査方法:

調査対象者に郵送にて QR コードを載せたハガキを送付ならびにメールし、Google フォームにて回答

■調査期間:

令和 6 年 11 月 29 日～令和 6 年 12 月 20 日

■回収結果:

送付数:108 件、回収数:23 件（回収率 21.2 %）

II. アンケート調査回答結果

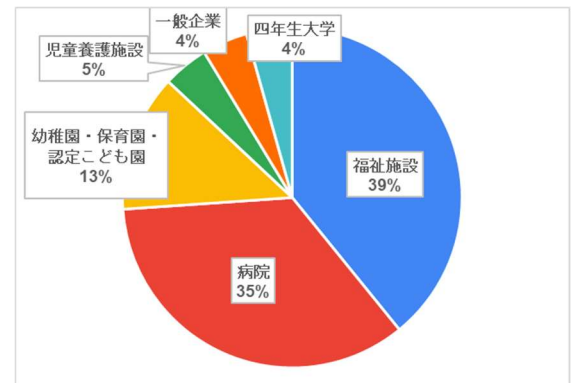
1. 基本情報

(1) 学科・選考

	対象	回答数	回収率
社会福祉学科	26	8	30.8%
看護学科	45	8	17.8%
幼児教育学科	31	6	19.4%
国際観光学科	3	1	33.3%
専攻科	3	0	0.0%
全体	108	23	21.3%

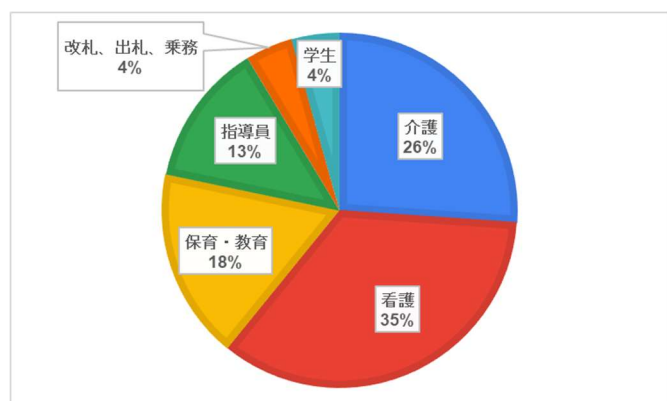
(2) 勤務先・進学先の種別

	回答数	割合
福祉施設	9	39.1%
病院	8	34.8%
幼稚園・保育園・認定こども園	3	13.0%
児童養護施設	1	4.3%
一般企業	1	4.3%
四年生大学	1	4.3%
全体	23	100.0%



(3) 主な業務内容

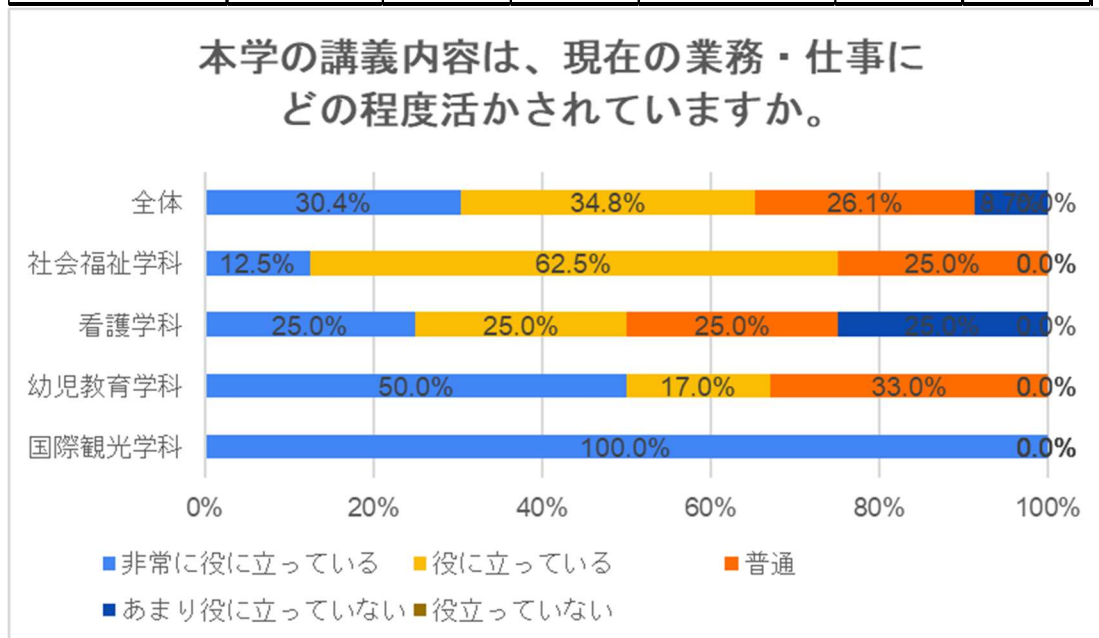
	回答数	割合
介護	6	26.1%
看護	8	34.8%
保育・教育	4	17.4%
指導員	3	13.0%
改札、出札、乗務	1	4.3%
学生	1	4.3%
合計	23	100.0%



2. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「講義全般」について

(1) 本学の講義内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	非常に役に 立っている	役に立っ ている	普通	あまり役立っ ていない	役立って いない	評価平均
社会福祉学科	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.87
看護学科	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	3.5
幼児教育学科	3 50.0%	1 17.0%	2 33.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.16
国際観光学科	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5
全体	7 30.4%	8 34.8%	6 26.1%	2 8.7%	0 0.0%	3.87



(2) 現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容を教えてください。

◆社会福祉学科

科目、講義内容	回答数
ソーシャルワーク演習	1
介護総合演習	1
介護の基本1	1
介護の基本	3
介護支援技術	2
生活支援技術	2

◆看護学科

科目、講義内容	回答数
成人看護学援助論	1
成人看護	1
成人急性期看護	1

◆幼児教育学科

科目、講義内容	回答数
造形表現	1
子どもとの関わり方	1
ピアノ、ミュージカル、	1
障害者(児)支援	1
全部	1

◆国際観光学科

無回答

(3) 講義について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」を教えてください。

◆社会福祉学科

内容	回答数
ファシリテーターの経験	1
介護用具の使い方	1
スライディングボードを使用した移乗介助	2
スライディングシートを使用した水平移動	1
スライディングシートを使用した上方移動	1

◆看護学科

仕事を始めると精神的な負担もかかりやすくなるのでメンタルケアの勉強があつての良いのかと思います
臨床的な知識、体験
看護技術、疾患に使用する薬剤の種類など。
病棟でよく使用する薬剤、概念など教えて欲しかった。生食、ヘパロック。コスト入力。など

◆幼児教育学科

ジェノグラム等の家族構成がひと目でわかるものをもっと詳しく学びたい。なぜなら、児童養護施設に就職すると頻繁に使うため知識として持っていた方が良いと思うため。
--

子どもに対しての知識や技術だけでなく、おたより、月案、経過記録等実際に働いた時に書く書類の書き方を知っておきたかった。

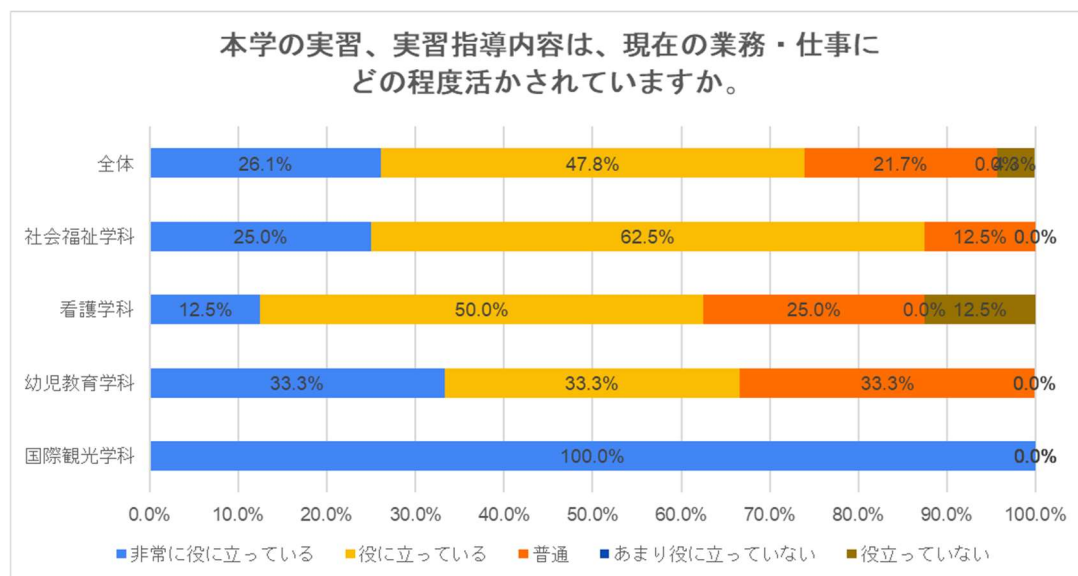
◆国際観光学科

無回答

3. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「実習」について

(1) 本学の实習、実習指導内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	非常に役に 立っている	役に立っ ている	普通	あまり役立っ ていない	役立って いない	評価平均
社会福祉学科	2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	4.12
看護学科	1 12.5%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	3.5
幼児教育学科	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	4
国際観光学科	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5
全体	6 26.1%	11 47.8%	5 21.7%	0 0.0%	1 4.3%	3.91



(2) 現在の仕事に特に活かされていると思う実習・実習指導内容を教えてください。

◆社会福祉学科

内容	回答数
施設実習	1
ソーシャルワーク実習 1	1
オムツ交換	3
移乗介助	3
食事介助の見学	3
体験	3
入浴介助	2

◆看護学科

成人看護学実習
Ns への声の掛け方、看護計画を立てて患者に介入すること。手浴、足浴などの清潔ケア
急性期看護実習、周術期の観客看護

◆幼児教育学科

子どもに背を向けない
部分実習、全日実習

◆国際観光学科

無回答

(3) 実習について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」を教えてください。

◆社会福祉学科

コミュニケーションなどで関わりにくい利用者のコミュニケーションについて学びたかった。
もっとより介護技術を多く学びたかった。

◆看護学科

オペ出しの場面をもっと見学したかった。

◆幼児教育学科

積極的に先輩に質問したい時に遠慮せず言える方法
正規、パート、クラスリーダーで1日のやること、働き方が全然違うと思うので、ただ先生として実習するのではなく、色々な立場で実習してみたら良かったのかなと思う。
実習に向けて、学校で部分実習の為の練習だけでなく、自由遊びの時の練習もしてみたかった。(同じタイミングで2箇所トラブルが起きる、自由遊び中に嘔吐、鼻血等よく起きるトラブルに対応する練習)
自分の住んでいる地域以外にある園にも実習に行きたかった

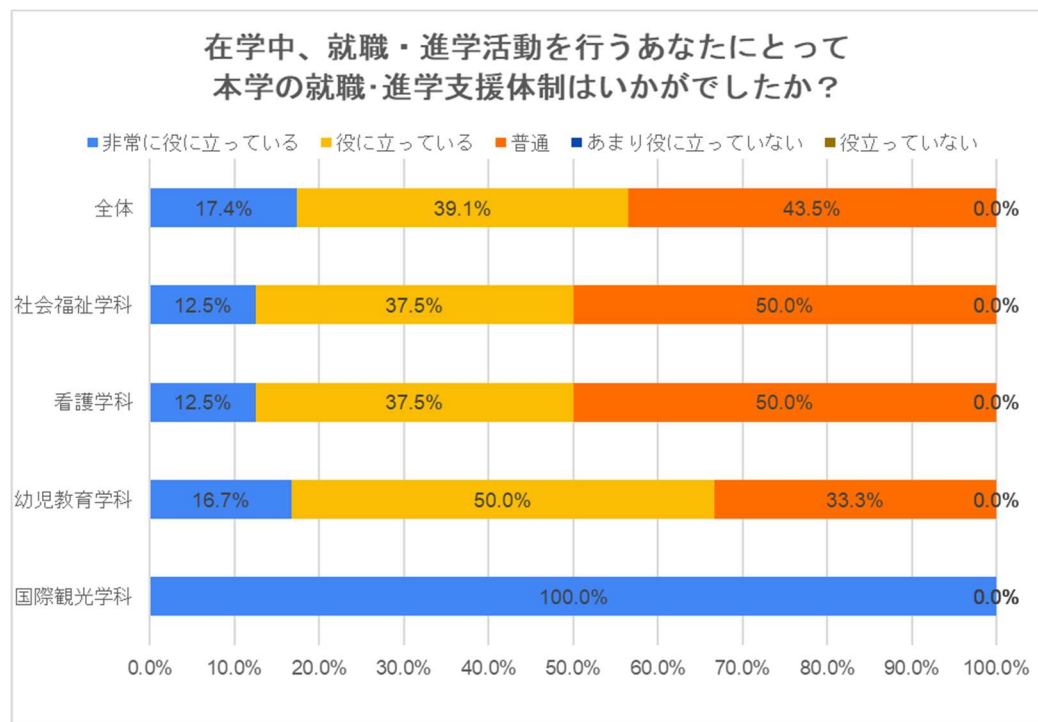
◆国際観光学科

無回答

4. 本学の就職・進学支援体制

(1) 在学中、就職・進学活動を行うあなたにとって、本学の就職・進学支援体制はいかがでしたか。

	非常に役に立っている	役に立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	評価平均
社会福祉学科	1	3	4	0	0	
	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	3.62
看護学科	1	3	4	0	0	
	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	3.62
幼児教育学科	1	3	2	0	0	
	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3.83
国際観光学科	1	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5
全体	4	9	10	0	0	
	17.4%	39.1%	43.5%	0.0%	0.0%	3.74



(2) 就職サポートへの要望を教えてください。

◆社会福祉学科

特になし

◆看護学科

現場での実際の声

◆幼児教育学科

面接を濃く行う

履歴書の書き方は、もっと丁寧に教えて欲しかった。

◆国際観光学科

無回答

5. 卒業後のサポート

- (1) 今後受講してみたい講座、セミナーや、開催して欲しい行事・イベントなどあればご自由にお書き下さい。

卒業生でまた集まる機会としてなにか行事を行って欲しい

卒業生参加型のビンゴ大会、卒業生と教員との飲み会

6. 後輩へのアドバイス

- (1) 就職をしてみて「学生時代にもっとこうしたほうが良い」という後輩へのアドバイスがあれば教えてください。（※履修選択、受講、勉強、学生生活、就職・進学、何でも結構です）

◆社会福祉学科

グループワークで自発的に動いたほうが良い
難しいことは沢山あると思いますが、講師の方にたくさん質問して疑問を減らしてください。
サークル入っておいた方が良い
就職活動で色々な施設を見学してから決めた方が良かったと思います。
就職活動で色々な施設を見学してから就職先を見つけた方が良かったと思います。
もっと介護について勉強を常にしておくことが大切だと思います。
就職活動で色々な施設を見学してから就職先を決めた方が良かったと思います。
遊び

◆看護学科

知識が足りないと実習でも国試でも難しいので、書いて覚えられる人はどんどん書いていけばいいし、実習で受け持った患者さんで覚えられる人はその疾患や既往の疾患を学習して学べばそれでよし
たくさん楽しい思い出を作ってください(^-^)
行きたい科の特徴、疾患、治療法を学ぶ
過去問やっていたら大丈夫と先輩から言われていたが、全く違う問題ばかりだったためレビューブックの小さい文字で書いてあるところも見ればよかった。
解剖生理学と疾患を結びつけて関係を理解することが大事になってくる

薬剤の作用・副作用を理解する、Dr.Ns への報告の仕方

自分の行きたい科の疾患やその疾患の観察項目、病棟特有のケア(腹膜透析や輸血する時の副作用の観察)などの特徴は学生のうちから調べておいた方が、実際に病棟で働く時に知識を繋げられてイメージしやすくなるので少しでも勉強しておくとう気持ち的に楽になると思います。あとは、介護保険の仕組みやサービスなども理解を深めておくと、退院カンファレンスなどの退院支援を実際にする時に役に立つと思います。

◆幼児教育学科

実習、ボランティア、アルバイト等で色々な施設での仕事を体験しておくとう良い

就職活動前から、様々な園の情報を集めておきた、自分の中の保育理念・目標に近い保育園の目星をつけておくとう良いと思う。

ピアスや染髪等働きだしたら出来ないため、できる時にやりたいと思ったらやる！今を楽しむ！

自分で体調管理ができるようになっておく、自分で自分の機嫌を良くする方法を知っておく、すぐ感情的にならないように自分をコントロールできるようにしておく

授業はきちんと受けて、実習先での態度はきちんとしましょう。実習生を受け持つと毎日忙しい中実習生の担当までより忙しくなると思います。保育にお邪魔していることを忘れずに手遊びが上手じゃなくてもピアノが上手じゃなくても、提出物、挨拶、態度をまずはしっかりとだと思います。

色んなところに実習に行く。ちゃんと中を見てから就職する。

◆国際観光学科

・習ったことが最大限役に立つのには時間がかかる 新入社員にできることは限られている

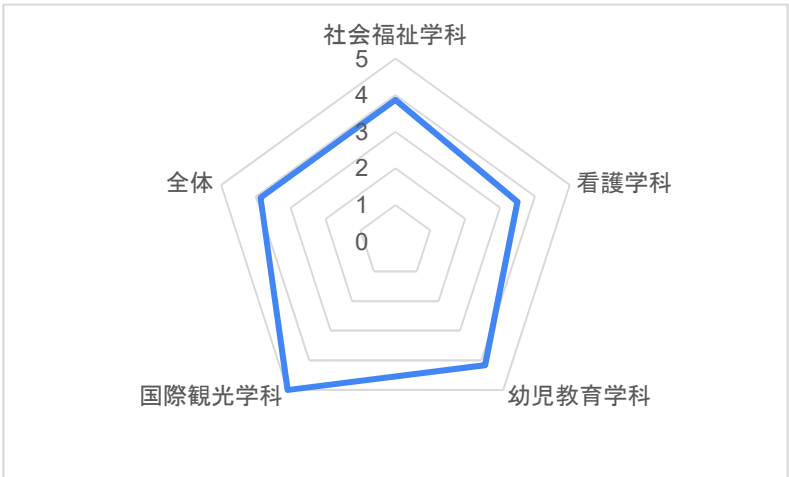
III.まとめ

令和6年3月に卒業・修了した卒業生(143名)のうち、進路が確定していた108名を対象に、卒業生アンケート調査が実施され23件の回答が得られた(回収率21.2%)。

◆全体

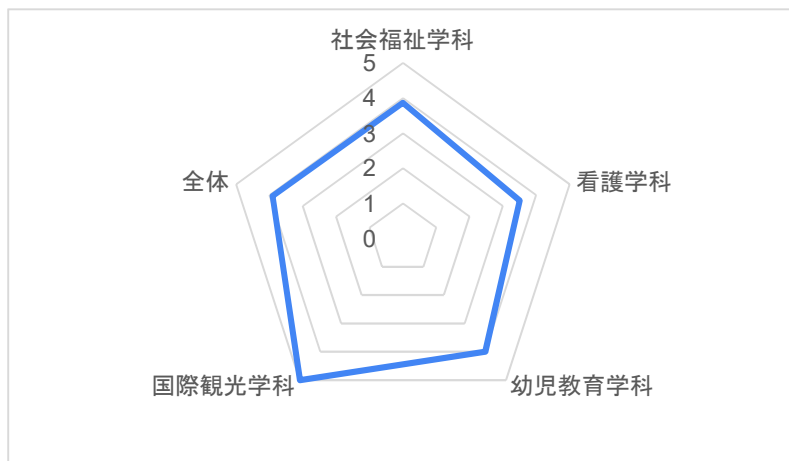
【本学の講義内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされているか】

学科	評価平均
社会福祉学科	3.87
看護学科	3.5
幼児教育学科	4.16
国際観光学科	5
全体	3.87



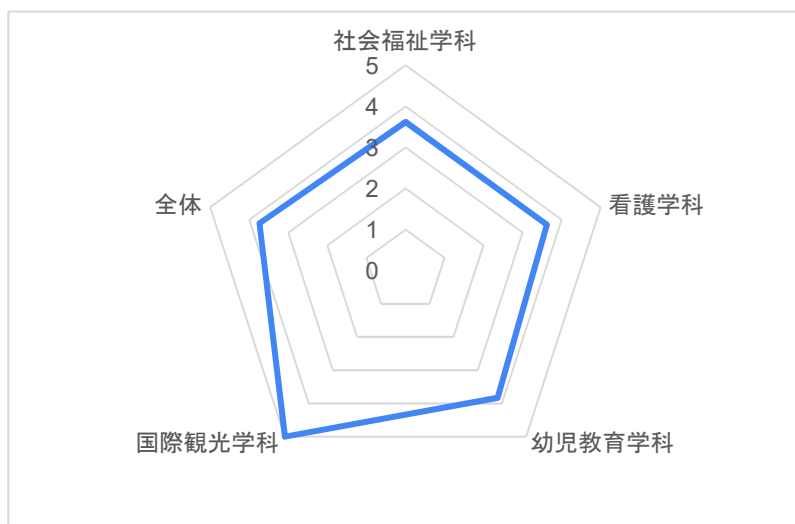
【本学の実習、実習指導内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされているか】

学科	評価平均
社会福祉学科	3.87
看護学科	3.5
幼児教育学科	4
国際観光学科	5
全体	3.91



【在学中、就職・進学活動を行うあなたにとって、本学の就職・進学支援体制はどうだったか】

学科	評価平均
社会福祉学科	3.62
看護学科	3.62
幼児教育学科	3.83
国際観光学科	5
全体	3.74



【卒業後のサポート】

- ・卒業生でまた集まる機会としてなにか行事を行って欲しい
- ・卒業生参加型のビンゴ大会、卒業生と教員との飲み会

◆社会福祉

【現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容】

- ・ソーシャルワーク演習
- ・介護総合演習
- ・介護の基本、介護の基本 1
- ・介護支援技術
- ・生活支援技術

【現在の仕事に特に活かされていると思う**実習・実習指導内容**】

- ・施設実習
- ・ソーシャルワーク実習
- ・オムツ交換、移乗介助、入浴介助、食事介助の見学、体験

【もっと**学びたかったこと・改善**してほしいこと】

- ・ファシリテーター経験や介護用具の使い方が業務に役立っている
- ・オムツ交換や移乗介助といった基本技術が活かされている
- ・施設見学や積極的な質問が求められる
- ・介護技術の継続学習
- ・コミュニケーションなどで関わりにくい利用者のコミュニケーションについて学びたかった
- ・もっとより介護技術を多く学びたかった。

【就職サポートへの**要望**】

- ・特になし

【後輩への**アドバイス**】

- ・グループワークでは自発的に動くことが重要
- ・介護について常に学び続けることが大切
- ・難しいことが多いが、講師に積極的に質問し、疑問を減らすことが必要。
- ・サークル活動に参加した方が良い
- ・遊びも大切
- ・複数の施設を見学してから就職先を決めるべき。

◆看護学科

【現在の仕事で特に役立っていると思う**科目、または講義内容**】

- ・成人看護学援助論
- ・成人看護
- ・成人急性期看護

【現在の仕事に特に活かされていると思う**実習・実習指導内容**】

- ・成人看護学実習
- ・Ns への声の掛け方、看護計画を立てて患者に介入すること。手浴、足浴などの清潔ケア
- ・急性期看護実習、周術期の観察看護

【もっと**学びたかったこと・改善**してほしいこと】

- ・オペ出しの場面をもっと見学したかった

【就職サポートへの要望】

- ・現場での実際の声

【後輩へのアドバイス】

- ・知識不足は実習や国試で苦戦するため、効果的な学習方法を見つけることが重要
- ・書いて覚える、実習で学ぶなど、自分に合った方法を選ぶ
- ・国試対策は過去問だけでなく、レビューブックの細かい部分まで確認する
- ・解剖生理学と疾患を結びつけて理解することが大切
- ・自分の希望する科の特徴、疾患、治療法を学んでおく
- ・薬剤の作用・副作用を理解し、医師・看護師への報告の仕方を習得する
- ・特定の病棟で必要なケア（腹膜透析・輸血時の副作用観察など）を事前に学ぶと、実際の現場でイメージしやすい。
- ・介護保険の仕組みやサービスの理解を深めると、退院カンファレンスや支援に役立つ
- ・たくさん楽しい思い出を作ることも大切

◆幼児教育

【現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容】

- ・造形表現
- ・子どもとの関わり方
- ・ピアノ、ミュージカル
- ・障害者（児）支援
- ・全部

【現在の仕事に特に活かされていると思う実習・実習指導内容】

- ・子どもに背を向けない
- ・部分実習、全日実習

【もっと学びたかったこと・改善してほしいこと】

- ・実習では、正規職員・パート・クラスリーダーなど異なる立場の視点を経験できるとよかった
- ・自分の住んでいる地域以外の園でも実習を経験したかった。
- ・実習前に、自由遊び中のトラブル対応（同時に起こる問題、嘔吐、鼻血など）の練習をしておきたかった。
- ・積極的に質問できる環境を整え、遠慮せずに聞ける方法を考えることが大切

【就職サポートへの要望】

- ・面接を濃く行う
- ・履歴書の書き方は、もっと丁寧に教えて欲しかった

【後輩へのアドバイス】

- ・ 実習、ボランティア、アルバイトなどで様々な施設を経験しておくが良い
- ・ 色々な園を見学し、保育理念や目標に合う職場を選ぶための情報収集を行う
- ・ 就職前に複数の実習先を経験し、しっかり内部を確認してから就職先を決める
- ・ 授業をしっかり受け、実習中の態度をきちんとすることが大切
- ・ 実習先の職員は忙しい中で指導してくれるため、実習生としての礼儀や姿勢を意識する
- ・ 手遊びやピアノのスキルよりも、提出物・挨拶・態度をしっかりすることが重要
- ・ 自分で体調管理をし、機嫌をコントロールする方法を身につける
- ・ すぐに感情的にならず、冷静に行動できるように自己調整を心がける
- ・ ピアスや染髪など、社会人になったらできなくなることは、できるうちに楽しんでおく

◆国際観光

【現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容】

無回答

【現在の仕事に特に活かされていると思う実習・実習指導内容】

無回答

【もっと学びたかったこと・改善してほしいこと】

無回答

【就職サポートへの要望】

無回答

【後輩へのアドバイス】

- ・ 習ったことが最大限役に立つのには時間がかかる
- ・ 新入社員にできることは限られている

これらの調査結果を踏まえ、教育内容の改善や支援体制の見直しを図るとともに、卒業生の意見を今後の教育方針やサポート体制に反映させることが重要と考える。

IV. 2022 年調査結果との比較

2022 年の卒業生アンケート調査結果からは下記のような要望と教員・職員の考察があった。

《講義改善への要望》

社会福祉専攻：スライド方式導入

介護福祉専攻：拘縮や褥瘡予防のポジショニング指導

看護学科：臨床現場に近づけた演習や国試問題の活用

幼児教育学科：回答なし

国際観光学科：地域観光の学習要望

《実習への要望》

社会福祉専攻：個別支援計画の立案

介護福祉専攻：実習経験の増加

看護学科：電子カルテの使い方、業務の流れ学習

《就職サポートへの要望》

- ・履歴書や面接練習の充実
- ・学生との個別の時間確保

《後輩へのアドバイス》

◆社会福祉専攻

- ・アルバイトやボランティアの経験
- ・実習中に積極的な質問を勧奨

◆介護福祉専攻

- ・給料より人間関係を重視した職場選び
- ・学生のうちに長期旅行を楽しむべき

◆看護学科

- ・基礎学習の重要性
- ・模試や解剖学への早期対応
- ・国試勉強の計画的進行

◆国際観光学科

- ・実践的学びの活用を勧める

《教員・職員の考察》

◆社会福祉専攻・介護福祉専攻（引用）

社会福祉専攻、介護福祉専攻ともに回答者数が少なく、適切な考察はできないが、知識・技術の教授については授業の内容や進め方について検討が必要である。また、近年は一般企業への就職を希望する学生もあり、就職支援体制についても検討が必要である。

◆看護学科（要約）

○1年生

相手を尊重する姿勢を養うためにグループワークや交流の機会を強化し、学生が自分に合った学び方を獲得できるよう支援するとともに、授業の開始・終了時の挨拶指導を徹底することで基本的なマナーを身につけさせる必要がある。さらに、ボランティアや学外イベントへの参加機会を増やし社会参加を促すとともに、クラス委員の役割を明確にし自主的な運営を推進することで主体性を育むことが求められ、加えて、専門家によるマナー研修を共通授業に取り入れることで、社会人としての基礎力を高める取り組みが必要。

○2年生

実習における挨拶や報連相の指導を強化し、姿勢や返事の仕方など印象を良くする研修を導入することで、学生の対人スキル向上を図るとともに、読書を奨励し人生観を養う機会を増やすことで、より広い視野を持たせる必要がある。さらに、外部の人に対する挨拶や礼儀を学内でも意識させることで社会性を高め、授業内容と実践技術を関連付けることで知識の定着を促すことが求められる。

○3年生

実習を通じて社会人としてのコミュニケーション力を強化し、グループ活動や個人活動を通じて責任感を醸成するとともに、自己分析を行い必要な行動を実践できるよう指導することが求められる。また、総合実習のオリエンテーションではロールプレイやディスカッションを実施し、病院説明会では卒業生の立ち居振る舞いを紹介・実演することで、実践的なスキルの習得を促す。さらに、心理的安全性を確保し、意見交換ができる場を設けるとともに、実習中の挨拶やコミュニケーションを自己評価し、課題を意識させることが重要である。加えて、全体的な課題としてアンケート内容を改善し、ポジティブなフィードバックも収集することで、より効果的な指導につなげる必要がある。学生の社会性向上を目指し、学年ごとの指導方針を明確化するとともに、PROGテストを活用した個別面談で成長計画を立案し、社会人マナー研修を導入することで、実践的な力を養う。また、教員の指導を統一し、学生の対応に一貫性を持たせることで、より質の高い教育環境を整えることが求められる。

◆幼児教育学科

記載なし

◆国際観光学科（引用）

回答が2名と少ないため、考察の内容には難しいが、2年間で学んだ内容はとても役に立っており、仕事の現場でも役立てているという結果であった。これは、今後の授業展開を行う際に参考になるコメントである。学生の時期に経験した授業や長期インターン実習など幅広い科目の全てが大変役に立ったと2名とも回答しており、必要な知識やスキルを学び、身に付けられたことが分かり、後輩にあたる在校生にもよい事例となった。

◆その他（要約）

- ・回答率の向上が課題
- ・ハガキ・メール依頼に加え、アンケート協力の意義を事前に周知。
- ・学科からのメッセージ送信など、回答率向上策を検討。

2022 年と 2024 年の要望を比較したところ、下記のような向上点と未改善点が見られた。

【向上点】

- ① 講義内容の具体化：2022 年には「スライド方式の導入」や「地域観光の学習要望」などの抽象的な要望が多かったが、2024 年には、社会福祉学科で「ファシリテーター経験」や「介護用具の使い方」、看護学科で「メンタルケア学習」や「薬剤に関する知識」など、具体的な学習内容の効果が挙げられている。幼児教育学科では、2022 年に意見がなかったのに対し、2024 年には 8 件の回答が得られ、実務に役立っている講義、実習内容のフィードバックが得られている。
- ② 実習内容の効果の明確化：2024 年には、社会福祉学科で「オムツ交換」や「移乗介助」、看護学科で「清潔ケア」や「急性期看護実習」など、実習が業務にどのように活かされているかが具体的に評価されている。
- ③ 後輩へアドバイスの具体化：2022 年の「アルバイトやボランティア経験」などに加え、2024 年では「施設見学」や「介護技術の継続学習」、「解剖生理学の基礎学習」や「薬剤知識の習得」、「実習生としての礼儀や姿勢を意識」や「自分で体調管理をし、機嫌をコントロールする方法を身につける」など、より具体的で実践的なアドバイスが学生に対して増えている。
- ④ 回答率の向上：2022 年の回答率 13.0%という課題は、2024 年の調査結果において 21.2%と改善傾向が見られた。オンライン調査における有効回答率は 20%～30%とのことなので有効範囲内に収まっていると言える。

【要改善点】

- ① 実習経験の充実：2022 年と 2024 年を通じて、「実習経験の増加」や「実習内容の改善」に関する要望が継続して挙げられている。特に、2022 年の時点で看護学科で電子カルテの使い方、1 日の業務の流れをもっと学びたかったという声が見られたが 2024 年では卒業生からも就職先の職員からも電子カルテの使い方や自己管理能力向上の指摘が行われており、実習内容の改善が十分に業務へ反映されていないと感じる声がある。
- ② 社会人基礎力の育成：2022 年時点でも“実習では挨拶や報連相に関する注意を受けている”という考察があったが、別途行った就職先アンケート調査でも挨拶や報連相に関する指摘が複数見られることからこの分野は改善の余地があると言える。
- ③ コミュニケーション研修の導入：2022 年の考察において“社会人教育としてのマナー研修は行われていない”と指摘されていたが、2024 年の結果から見ると、まだ実施が不十分である可能性がある。卒業生からは関わりにくい利用者のコミュニケーションについて学びたかったという声が上がっているのでマナー研修以外にもアサーティブコミュニケーションやアンガーマネジメントの実践演習のような機会があると良い。
- ④ 就職支援体制の課題：2022 年と 2024 年を通じて、履歴書や面接練習、就職活動のサポートに関する要望が依然としてある。特に、看護学科や幼児教育学科では、支援体制の強化を求める声が続く挙げられている。
- ⑤ 回答率の低さ：21.2%と改善したものの最低でも 30%を目指して引き続き改善が求められる。

V. 考察

社会福祉学科	回答数が8名（回収率 30.8%）と低い。講義内容や実習に関しては概ね「役に立っている」という評価であった。特に技術面での内容が多いため、引き続き技術面の教授を充実・強化していく必要がある。
看護学科	・ 回答が8名(17.8%)と極めて少なく偏っていることはいさめないことがその後の回答にも影響を与えている。 アンケートの時期的として、OC やふくたん祭に来てい る卒業生からの意見も反映できるようにアンケートを幅 広い対象に聴くと異なる結果が出るのではないかと推察 される。 講義全般・実習があまり役に立っていない 25%・役立 ていない 12.5%の理由があった方がよい。これは極めて 衝撃的な結果であり、実習体験が活かされないとする ば領域別実習の内容の検討が必要である。（ここでは1 名の意見が全体の意見となる） ・ もっと学びたいことにメンタルケア、薬剤関連・コス ト入力・周術期の看護、オペだし等実務的なことや急性

期の状態の理解に望んでいることが解った。実習時間配分の検討を要する。

後輩へのアドバイスでは国試対策、学習方法、思い出づくり等幅広く意見が出されていたことは教員が日々学生に対してアドバイスや個別で指導している内容と一致している。

・一部の学生については、自分の弱点と向き合うことから逃避することや、わからない原因をを教えてくれなかったせいだ、と捉えるなど問題を自分で解決しようという姿勢がみられないまま学生生活を送っていたことで問題解決能力について低めの評価となったと考える。実習でもわからないことは課題学習シートにまとめるように指導するものの、「調べる」という行動をとったというだけで、「内容を理解した」とイコールではないという現状を改善する必要があると考える。

結論 卒業生からのアンケートの数を増やしていかないと内容が偏ってしまっているため、次年度は数を増やすために様々な行事を活用して頂きたい。看護学科としても教育内容の見直しを検討していきたい。

幼児教育学科	先ずは、もっと回答が来るように在学中の学生とのコミュニケーションを大切にすることが大事であると反省しました。また、もっと学びたかったことに記載のある項目について、学科教員で情報共有して今後の改善課題として取り組みたいと感じた。卒業後も気軽に学校に相談に来れるように在学中にしっかりと対応したいと思います。
国際観光学科	回答が3名と少ないため、考察の内容には難しいが、2年間で学んだ内容はとても役に立っており、仕事の現場でも役立てているという結果であった。これは、今後の授業展開を行う際に参考になるコメントである。学生からのコメントが無回答の箇所が多く不明な点もあるが、必要な知識やスキルを学び、身に付けられたことは鑑みることができる。
専攻科看護学専攻	回答が得られなかったため考察不可